

自己分析課題アップしました。

山口@製図試験 com です。

1月9日に公開の自己分析課題セットをアップしました。

あなたの自己分析をしていただき、その上で、その情報を分析し、共有してアドバイスします。

時間内に解ける方は時間内トライを、時間内に解けない方は、何時間何日かかってもいいので送ってください。またエスキースだけでも拝見します。

要は一步でも1mmでもいいから前進すること。そのためのベンチマークを打つこと。

これが今年のスタートラインになります。

締め切りは1月末と zwar いますが、早くに送っていただいて構いません。またオーバーしても構いません。

ただ常に、**あなたが合格するためには一体どうするのが最善なのか、それだけを考えて行動してください。**

○このダウンロードに含まれているファイル：

問題文 A2版、A3で2枚版、添削シートA3、エスキースプロセスシートA3で2枚

○弊社分析・解答例はお申込みの方にのみお送りします。必要な方は下記からお申込みください。

<https://seizushiken.com/welcart/item/a002y/>

費用は3,000円としていますが、合格基礎講座やコースをお申込みの方は、その金額が含まれています。

なお、用紙だけも別途販売していますが、お手持ちの他社用紙を使っていただいて構いません。

■合格基礎講座について

合格基礎講座は2月4日からスタート予定です。毎日の配信メール（メンバーズサイトBANDへも配信）、及び時々動画オンラインを平日毎日30-60分程度行うイメージです。

2月はエスキース、3月は自己添削遠州を、主に自己分析課題+過去問題を用いておこないます。

それまでにステップで攻略するエスキースの読破、Udemyでの3本の教材を済ませておくといいでしょう。

それでは2026年末には「合格する」ことを決意して。

2026年1月吉日

製図試験com 代表：山口 達也

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市において、住民が利用しやすいコミュニティセンターを計画するものである。本計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- (1) 周辺環境に配慮した計画とする。特に公園との関係性に配慮する。
 - (2) 具体的に建築計画として「利用しやすさ」に配慮する。
 - (3) 被災時の防災拠点となるよう配慮する。
- 1. 敷地及び周辺条件**
- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」とおりである。
 - (2) 敷地は平坦で、敷地と、道路の路面の中心、隣地及び道路の反対側の敷地には、高低差はない。
 - (3) 敷地及びその周辺は、準住居地域（道路高さ制限等における斜線勾配は1.25とする。）及び準防火地域に指定されている。また、建築率の限度は70%（所定の加算を含む。）、容積率の限度は300%である。
これら以外に、地域、地区等及び特定行政庁による指定、許可等並びに日影による建築物の高さの制限はない。
 - (4) 電気、ガス及び上下水道は完備している。
 - (5) 地盤は、おおよそ GL-6m の位置に支持地盤がある。
 - (6) 気候は温暖であり、積雪について特別の配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- (1) 構造種別は自由とし、地上3階建ての耐火建築物とする。
- (2) 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化基準」を満たすものとする。ただし、主たる階段は、幅1,400mm以上、蹴上げ160mm以下、路面300mm以上とする。

3. 要求事項

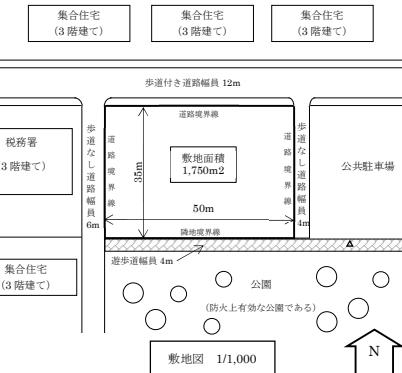
下表の室は、すべて計画する。		
・居室は全て天井を貼り天井高さ3000以上とし、室内に梁を表しにしないものとする。		
・公園からは自由に入り出しきるものとする。		
室名	特記事項	床面積
カフェ	・外部及びエントランスホールから入りできる。 ・テーブル・イス・カウンター等40席分をレイアウトする。 ・カフェテラスに自由に入り出しきできる。	適宜
エントランスホール	・南北に風除室を設ける。 ・上部吹抜け（風除室上部を含まず70m2以上）及びピッソアを設ける。	適宜
市民ホール	・多目的に利用できる市民ホールとする。 ・天井高さを5m以上とする。 ・公園との関係性に配慮する。 ・空調機械室、倉庫等を設ける。	300m2以上
図書室	・貸出カウンター、BDSを設ける。 ・開架書架、テーブル・椅子、キャリル等を設ける。	250m2以上
子育て支援室	・事務コーナー、待合コーナー、相談ブース、 子供便所、授乳室、キッズコーナー等を設ける。 ・各コーナー等のバランスに配慮する。	200m2以上
調理実習室	・子育て支援の一環で離乳食教室を行なう。 ・6人利用の調理テーブルを4台設ける。 ・倉庫、講師控室等を設ける。	100m2以上
講習室	・子育て支援室にも利用する。 ・会議室と間違わないよう配慮する。	100m2以上
大会議室	・無柱空間とする。 ・2室に分割可能とする。	300m2以上
中会議室	・2室設ける。	各約100m2
小会議室	・2室に分割可能とする。	50m2以上
事務管理室	・エントランスホールに面して、案内カウンターを設ける。 ・5名分のワークスペースを設ける。	適宜
給湯室	・各階に設ける。	
ゴミ保管庫	・1階に設ける。	
消防ポンプ室	・屋内消火栓用とする。	10m2以上
防災備蓄庫	・灾害時に運用できるよう配慮する。	100m2以上
設備スペース	・設備スペースや倉庫等、その他必要な諸室を設ける。	

3. その他の施設等

- (1) 駐車場は、東側の公共駐車場を利用する。ただし敷地内に車椅子用駐車場を1台、サービス用駐車場1台分、計2分設ける。
- (2) 駐輪場は、2.0mx0.5m/台とし、20台分以上を設ける。
- (3) カフェに隣接する外部空間にカフェテラス（面積適宜）を設け、テーブル・イスを配置する。
- (4) 誰でも利用できる屋上庭園（面積適宜）を設ける。

4. 留意事項

- (1) 構造計画については、次の点に留意する。
 - ① 基礎構造は地盤条件や経済性を踏まえ適切に計画する。
 - ② 耐震性や経済性に配慮し、架構を計画する。
- (2) 設備機器等の搬入・更新及びメンテナンスに配慮する。
昇降機設備を適切に設ける。
受水槽（wdxh=5x2x2m）を設ける。
- (3) 延焼ライン（建築物の延焼のおそれのある部分の有無にかかわらず必ず記入する。）、延焼ライン及び防火区画に用いる防火設備の位置及び種別
- (4) 地上に通じる2以上の直通階段を適切に計画する。必要に応じて、敷地内の避難上必要な通路を適切に計画する。
- (5) 計画に際し、「建築基準法第56条第7項（天空率）」、「建築基準法施行令第5章の3（避難上での安全の検証）」等の規定を適用する場合には、答案用紙裏面にその計算過程及び結果を記入する。



II. 要求図書

答案用紙 I 及び答案用紙 II の定められた枠内（寸法線については枠外でもよい）に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面（答案用紙 I に記入）

- 「1. 設計条件」の要求等を満足したことを明示したうえで、下表に示す事項を図示又は記入して、図面上を作成する。（フリーアンドでもよい。）
ほかにも計画上で工夫、配慮した事項について、図面上に什器等を記入して表現し、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼配置図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 主寸法、床面積、室名等、什器等 ロ. 延焼ライン（建築物の延焼のおそれのある部分の有無にかかわらず必ず記入する。）、延焼ライン及び防火区画に用いる防火設備の位置及び種別 ハ. 断面図の切断位置
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図・配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 駐車場・駐輪場（台数及び出入口を明示する。） ロ. 「敷地内の避難上必要な通路」の経路と幅 ハ. 建築物から敷地境界線までの最小後退距離 ニ. 防火水槽（3mx5m）を破線で図示する。
(3) 3階平面図 1/200	③ 2階平面図及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ロ. 直下階の壁根、庇等
(4) 断面図 1/200	④ 切断位置は、東側道路を含み、建築物全体の構成がわかる断面とする。なお、水平方向及び地上部の鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高高さ、階高、天井高、床高及び主要な室名等を記入する。壁、梁及びスラブの断面を図示する。 ③ 高さ制限等の適合が確認できる情報（道路境界線、道路、最小後退距離、計算式等）等を記入する。 ④ 塔屋及び屋上の設備スペースがある場合は図示し、切断面に現れない場合は、破線で図示する。

2. 面積表（答案用紙 I に記入）

- (1) 床面積の合計は、容積率以下とする。
- (2) 建築面積、建ぺい率、床面積の合計及び各階の床面積の算定式を記入する。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー（外気に有効開放されているものに限る。）、屋外階段及び屋上設備スペースは、床面積に算入しない。ただし、ピロティ等を屋内の用途に供するもの（カフェテラス、駐車場、駐輪場、設備スペース等）については、床面積に算入する。

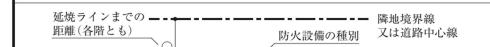
3. 計画の要点

自己分析課題では間わない。ただし答案後、添削シートを記入し、その後、エクスプロセシストにも記入し理解を深めること。

4. 防火設備等の凡例

柱、壁、開口部等を明確に作図し、防火設備の表示（@、◎）については、必要な箇所に全て記入すること

【延焼ライン（建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置）と防火設置】



延焼ラインを破線で図示し、隣地境界線又は道路中心線から延焼ラインまでの距離を記入すること
また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること

【防火区画に用いる防火設備の位置及び種別】

防火区画（面積区画、堅穴区画等）に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること

【防火設備の表示】

特定防火設備 @ 建築基準法第2条第九号の二 ロに規定する防火設備 ◎

【建築物の計画に当たっての留意事項（課題公表時の再掲）】

- ・敷地の周辺環境に配慮して計画する。
- ・ハイアリー、省エネルギー、二酸化炭素排出量削減、セキュリティ等に配慮して計画する。
- ・各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
- ・大地震等の自然災害が発生した際に、建築物の機能が維持できる構造計画とする。
- ・建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
- ・構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画とともに、適切な断面寸法の部材を計画する。
- ・空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

5. 図面レイアウト（製図試験.com 課題指示：本試験では解答用紙 I に記載）



6. 修正点：問題文にミスがあった場合は、ここに修正点を挙げます。

■添削について

締め切りは1月末日としますが、遅れても添削します。

〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局

送付はPDFもしくは郵送（レターパックL判がおすすめ）でお願いします。

また郵送の場合はコピーを取ったのち、その原本を4つ折りしてお送りください。

送付は <https://seizushiken.com/zumen> に記載しています。

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市において、住民が利用しやすいコミュニティセンターを計画するものである。本計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- (1) 周辺環境に配慮した計画とする。特に公園との関係性に配慮する。
- (2) 具体的に建築計画として「利用しやすさ」に配慮する。
- (3) 被災時の防災拠点となるよう配慮する。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」とおりである。
- (2) 敷地は平坦で、敷地と、道路の路面の中心、隣地及び道路の反対側の敷地には、高低差はない。
- (3) 敷地及びその周辺は、準住居地域（道路高さ制限等における斜線勾配は1.25とする。）及び準防火地域に指定されている。また、建蔽率の限度は70%（所定の加算を含む。）、容積率の限度は300%である。
これら以外に、地域、地区等及び特定行政による指定、許可等並びに日影による建築物の高さの制限はない。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は完備している。
- (5) 地盤は、おおよそ GL-6m の位置に支持地盤がある。
- (6) 気候は温暖であり、積雪について特別の配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- (1) 構造種別は自由とし、地上3階建ての耐火建築物とする。
- (2) 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化基準」を満たすものとする。ただし、主たる階段は、幅1,400mm以上、蹴上げ160mm以下、路面300mm以上とする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

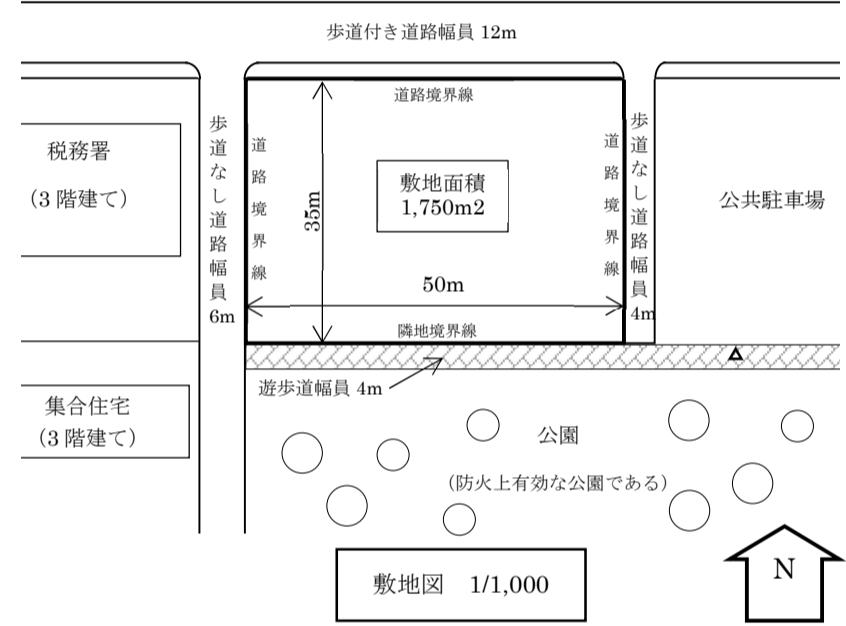
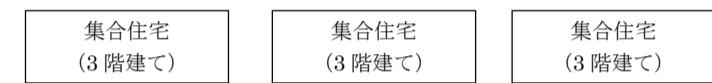
室名	特記事項	床面積
カフェ	・外部及びエントランスホールから出入りできる。 ・テーブル・イス・カウンター等40席分をレイアウトする。 ・カフェテラスに自由に出入りできる。	適宜
エントランスホール	・南北に風除室を設ける。 ・上部吹抜け（風除室上部を含まず70m ² 以上）及びトップライトを設ける。	適宜
市民ホール	・多目的に利用できる市民ホールとする。 ・天井高さを5m以上とする。 ・公園との関係性に配慮する。 ・空調機械室、倉庫等を設ける。	300m ² 以上
図書室	・貸出カウンター、BDSを設ける。 ・開架書架、テーブル・椅子、キャレル等を設ける。	250m ² 以上
子育て支援室	・事務コーナー、待合コーナー、相談ブース、子供便所、授乳室、キッズコーナー等を設ける。 ・各コーナー等のバランスに配慮する。	200m ² 以上
調理実習室	・子育て支援の一環で離乳食教室を行う。 ・6人利用の調理テーブルを4台設ける。 ・倉庫、講師控室等を設ける。	100m ² 以上
講習室	・子育て支援関連にも利用する。 ・会議室と間違われないよう配慮する。	100m ² 以上
大会議室	・無柱空間とする。 ・2室に分割可能とする。	300m ² 以上
中会議室	・2室設ける。	各約100m ²
小会議室	・2室に分割可能とする。	50m ² 以上
事務管理室	・エントランスホールに面して、案内カウンターを設ける。5名分のワークスペースを設ける。	適宜
給湯室	・各階に設ける。	
ゴミ保管庫	・1階に設ける。	
消火ポンプ室	・屋内消火栓用とする。	10m ² 以上
防災備蓄庫	・災害時に運用できるよう配慮する。	100m ² 以上
・設備スペースや倉庫等、その他必要な諸室を設ける。		

3. その他の施設等

- (1) 駐車場は、東側の公共駐車場を利用する。ただし敷地内に車椅子用駐車場を1台、サービ用駐車場1台分、計2分設ける。
- (2) 駐輪場は、2.0mx0.5m/台とし、20台分以上を設ける。
- (3) カフェに隣接する外部空間にカフェテラス（面積適宜）を設け、テーブル・イスを配置する。
- (4) 誰でも利用できる屋上庭園（面積適宜）を設ける。

4. 留意事項

- (1) 構造計画については、次の点に留意する。
 - ① 基礎構造は地盤条件や経済性を踏まえ適切に計画する。
 - ② 耐震性や経済性に配慮し、架構を計画する。
- (2) 設備機器等の搬出入、更新及びメンテナンスに配慮する。
昇降機設備を適切に設ける。
受水槽(wxdxh=5x2x2m)を設ける。
- (3) 延焼ライン（建築物の延焼のおそれのある部分の位置）を記入する。
必要に応じて、延焼ライン及び防火区画（面積区画、堅穴区画等）に要求される所定の防火設備を適切に計画する。
- (4) 地上に通じる2以上の直通階段を適切に計画する。必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。
- (5) 計画に際し、「建築基準法第56条第7項（天空率）」、「建築基準法施行令第5章の3（避難上の安全の検証）」等の規定を適用する場合には、答案用紙裏面にその計算過程及び結果を記入する。



II. 要求図書

答案用紙I及び**答案用紙II**の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

「I. 設計条件」の要求等を満足したことを明示したうえで、下表に示す事項を図示又は記入して、図面を作成する。(フリーハンドでもよい。)
ほかにも計画上で工夫、配慮した事項について、図面上に什器等を記入して表現し、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼 配 置 図 1/200	<ul style="list-style-type: none"> ① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 <ul style="list-style-type: none"> イ. 主要寸法、床面積、室名等、什器等 ロ. 延焼ライン(建築物の延焼のおそれのある部分の有無にかかわらず必ず記入する。)、延焼ライン及び防火区画に用いる防火設備の位置及び種別 ハ. 断面図の切断位置 ② 1階平面図・配置図には、次のものを図示又は記入する。 <ul style="list-style-type: none"> イ. 駐車場・駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ロ. 「敷地内の避難上必要な通路」の経路と幅 ハ. 建築物から敷地境界線までの最小後退距離 ニ. 防火水槽(3mx5m)を破線で図示する。 ③ 2階平面図及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 <ul style="list-style-type: none"> イ. 居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ロ. 直下階の屋根、庇等
(2)2階平面図 1/200	
(3)3階平面図 1/200	
(4)断面図 1/200	<ul style="list-style-type: none"> ① 切断位置は、東側道路を含み、建築物全体の構成がわかる断面とする。なお、水平方向及び地上部の鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高高さ、階高、天井高、床高及び主要な室名等を記入する。壁、梁及びスラブの断面を図示する。 ③ 高さ制限等の適合が確認できる情報(道路境界線、道路、最小後退距離、計算式等)等を記入する。 ④ 塔屋及び屋上の設備スペースがある場合は図示し、切断面に現れない場合は、破線で図示する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

(1) 床面積の合計は、容積率以下とする。

(2) 建築面積、建ぺい率、床面積の合計及び各階の床面積の算定式を記入する。

この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー(外気に有効開放されているものに限る。)、屋外階段及び屋上設備スペースは、床面積に算入しない。ただし、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(カフェテラス、駐車場、駐輪場、設備スペース等)については、床面積に算入する。

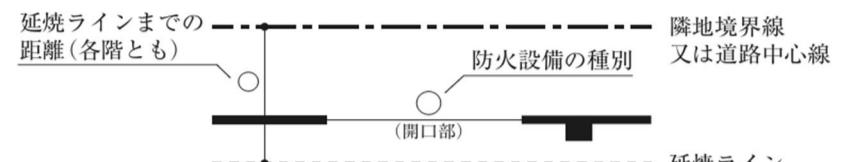
3. 計画の要点

自己分析課題では問わない。ただし答案後、添削シートを記入し、その後、エスキースプロセスシートにも記入し理解を深めること。

4. 防火設備等の凡例

柱、壁、開口部等を明確に作図し、防火設備の表示(⑪、⑫)については、必要な箇所に**全て記入**すること

【延焼ライン(建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置)と防火設備】



延焼ラインを破線で図示し、隣地境界線又は道路中心線から延焼ラインまでの距離を記入すること
また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること

【防火区画に用いる防火設備の位置及び種別】

防火区画(面積区画、窓穴区画等)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること

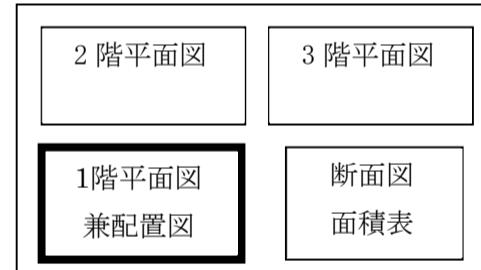
【防火設備の表示】

特定防火設備	特	建築基準法第2条第九号の 二 口に規定する防火設備	防
--------	---	------------------------------	---

【建築物の計画に当たっての留意事項(課題公表時の再掲)】

- ・敷地の周辺環境に配慮して計画する。
- ・バリアフリー、省エネルギー、二酸化炭素排出量削減、セキュリティ等に配慮して計画する。
- ・各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
- ・大地震等の自然災害が発生した際に、建築物の機能が維持できる構造計画とする。
- ・建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
- ・構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を計画する。
- ・空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙Iに記載)



6. 修正点：問題文にミスがあった場合は、ここに修正点を挙げます。

■添削について

締め切りは1月末日としますが、遅れても添削します。

〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局

送付はPDFもしくは郵送(レターパックライトがおすすめ)でお願いします。

また郵送の場合はコピーを取ったのち、その原本を4つ折りしてお送りください。

送付は <https://seizushiken.com/zumen> に記載しています。



このシートを使って答案を修正しないこと。もしする場合は、青文字で追記すること

10. 設計条件は判断系

20要求図書

No.	図面	受講生	講師	質問・所感			
1	平面図			出入口△、最小後退距離、直下屋根庇、防火水槽5x3破線表記他			
2	断面図			寸法、天井高さ、室名、基礎、塔屋、設備別、法規別指定			

31-33要求室

No.	要求室	床面積	*階・面積		動線・関係		特記他		特記事項
			受講生	講師	受講生	講師	受講生	講師	
1	居室天井高さ								3000↑
2	カフェ	100↑							客席1.5m ² /人以上、造作 40席+厨房1/3程度 カフェテラスアクセス
3	エントランスホール								南北風除室、吹抜け70↑、トップライト
4	市民ホール	300↑							5m↑、公園関係性、空調+倉庫
5	図書室	250↑							貸出カウンター、BDS、 開架書架、テーブル・椅子、キャレル
6	子育て支援室	200↑							事務コーナー、待合コーナー、相談ブース、 子供便所、授乳室、キッズコーナー
7	調理実習室	100↑							子育て近く、調理テーブル4、倉庫、講師控室等
8	講習室	100↑							子育て支援近く、会議室と分ける
9	大会議室	300↑							無柱、2室分割
10	中会議室	各100							2室
11	小会議室	50↑							2室分割
12	事務管理室	30↑							案内カウンター、5~10m ² /人↑
13	給湯室								各階
14	ゴミ保管庫								1階
15	消火ポンプ室	10↑							1階
16	防災備蓄庫	100↑							災害時運用配慮
17	(トイレ)	各階							各階
18	設備4点セット								キュービクル・太陽光パネル・発電機・室外機
19	PS・DS・EPS・ACPS								
20	受水槽								wxdxh=5x2x2m、屋外もしくは受水槽室

↑ *ここは階を描くことでチェックしてください。

34その他の施設

No.	要求室	床面積 数量	階・面積		動線・関係		特記他		質問・所感
			受講生	講師	受講生	講師	受講生	講師	
1	車椅子使用者用P	1							
2	サービス用P	1							
3	駐輪場	20↑							
4	カフェテラス								テーブル・イス
5	屋上庭園								誰でもアクセス可能な配置

40法規

No.	要求室	受講生	講師	質問・所感
1	斜線関連			道路(位置・表現・計算)
2	延焼ライン			延焼ライン表現(東西南北)、防火設備
3	二方向避難			位置 表記 60/30計算 避難階を除く各階
4	敷地内通路			二直階段から敷地外までのルート 有効幅員
5	防火区画			面積(○特抜)、窓穴(○防抜)、外部区画○防抜
6	BF法			円滑化基準、スロープ、段差、有効幅1400↑
9	建築基準法			廊下幅、採光他

判断系(judgement)

No.	成立項目	受講生判断	講師添削	質問・復習ポイント
1	設計条件コンセプト			公園含む周辺環境配慮・使いやすい・防災拠点
D	作図表現印象			読みやすい図面
A	アプローチ計画			
S	配置計画			
P	プラン印象(コア・共用部)			
Z	動線・ゾーニング(階振分)			
5	構造計画			
6	設備計画			
7	計画の要点			
8	受講生総括			講師所感

項目	記号	意味
階	値※	室アルナシ=記入で代替
	✓	大丈夫・成立
動線	△	不安・要注意
面積	○	ミス・不成立
特記	/	該当なし(斜線セル)

自己評価 / 講師評価 課題

自己分析

ID@ハンドルネーム

B: 地階 S: 基準階

①答案図面作成→②添削シートで自己添削→③プロセスシート書込

ES07 : 要求室読解（全室リスト）

Q071: 居室ではない室は何か。

Q072: 居室で天井を貼り天井高さ 3000 以上とする場合、階高さの設定は。

Q073: 公園からは自由に出入りできるものとする場合、どんなことが想定されるか。

Q074: カフェの床面積算定根拠を示せ。

Q075: 要求室の部門を想定せよ。

Q076: 市民ホールは何階に設定するか。その根拠を示せ。

Q077: 事務管理室面積と算定根拠を示せ。

Q078: 防災備蓄庫の階設定とその理由。

Q079: 想定される必要床面積を示せ。

ES08 : 動線図・積上図 II

Q081: 想定した動線図を示せ。

支持地盤が、およそ GL-6m の位置にある場合の留意事項は何か。

ES04 : 建築物

Q041: 2. 建築物 バリアフリー法上、留意すべき点は何か。

ES05 : その他の施設

Q051: 3. その他の施設等における特異点は何か。

Q082: 想定される最大の建築ボリューム(積上図 II)を示せ。

ES06 : 最大建築面積

Q061: 最大建築面積を求めよ。

Q062: スパン決定要因を書き出したうえで想定スパンを示せ。

ES09：読解まとめ（ポイントアップ）

Q091:ここまで読解で、普段とは異なる注意事項を5点以上まとめよ。

Q092:答案の分岐点になるようなポイントを箇条書きでまとめよ。

Q093:エスキースする際の方針をまとめよ。

ES10：ゾーニング（階振り分け）

Q101:理想の階振分けに対して、矛盾なく割り振れるか。
割り振れない場合、どのような問題があるか。

ES11：コアゾーニング

Q111:コアゾーニングにおいて無柱空間の配置理由
Q112:コアゾーニングにおいて吹抜けの配置理由

ES12：コマプランニング

Q121:プランニング上迷った点・無理があると思われる点

ES13：エスキース最終チェック

Q131:エスキースと問題文の照合見直しのタイミングで間違えていた点があれば。

Q132:エスキースとして1/400を利用しているか（はい・いいえ）

Q133:以下の法的確認はどのタイミングで行ったか。（複数確認可）

二方向避難:

防火区画

建ぺい率70%

延焼ライン

道路斜線

設備・構造

Q141:採用した空調方式は

Q142:支持地盤への処理方法と採用した基礎は

時間配分

工程	あなたの配分	理想
問題文読解	分	70分
エスキース	分	25分
エスキース見直し	分	15分
作図	分	170分
最終見直し	分	60分
要点 (の代わりにこのシート)		(50分)

プラン自己評価（A/B/C/Dの4段階で評価してください。）

項目	自己評価	講師評価
読解の読み落としミス		
階の振り分け		
コア配置		
プランニング		
作図表現		
文字・数字表現		
最終チェック力		
時間配分		
総合評価		

あなたの自己分析

強み・弱点含め自己分析してください。

ID@ハンドルネーム